

2026 年度ゼミ（演習 2A／演習 2B）要覧

担当者名	孫 占坤（そんせんこん）
演習テーマ	地域紛争・民族紛争を通して国際平和を考える
校外実習	1、実施しない 2、実施（実施時期： 2026年 8～9月）
メール・アドレス	sun@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	
2027 年度に開講しない可能性 (研究サバティカル)	ない
授業概要	世界各地の民族紛争・地域紛争について学び、平和を考える。なぜ紛争が起き、続くのか、妥協や解決の道筋があるのか。演習 1 で学んだ近代主権国家・国民国家形成の歴史・理論をベースにしつつ、具体的な紛争事例について議論を行う。進行中のウクライナ戦争、中東紛争、1990 年代の旧ユーゴスラビア紛争を主なトピックとして取り上げる予定だが、東アジア地域の安全保障問題（例えば、領土・海洋紛争、台湾海峡を跨る中国大陸と台湾との関係等）やアイヌ問題で象徴される先住民族問題等もゼミの学ぶ射程にある。
学習目標	次の 3 点を学習目標とする。(1) ウクライナの、パレスチナ・イスラエル、旧ユーゴなど、それぞれの地域の特殊性を理解すること。(2) 民族・地域紛争を解決するための国際的枠組（法制度、国際組織など）についての理解を深めること。(3) 「地球市民」の一人として、自分が地域紛争・民族紛争の解決に向けて何ができるかを考え、見つけること。
授業計画	詳細は新年度の「シラバス」で開示されるが、大まかな年間計画として、次のように予定している。 春学期（演習 2A）：ウクライナ戦争、パレスチナ問題、旧ユーゴ紛争について文献や映像を通して歴史を知り、現状を把握すること。 秋学期（演習 2B）：東アジア地域でホットな紛争となりうる「火種」、特に領土紛争（尖閣、竹島、南シナ海など）、台湾海峡をめぐる中国大陸と台湾の関係を取り上げる予定。
予習	授業の内容を正確に理解してもらうため、毎回予習の課題提出を求める予定。
復習	授業の内容をより深く把握してもらうため、復習課題の提出も頻繁に求める予定。
授業に関する注意事項	① ゼミに欠席せず、出席し、かつ積極的に議論へ参加すること。 ② 宿題もきちんと提出すること。
教科書	① 黒川祐次『物語 ウクライナの歴史』中央公論社。 ② 臼杵 陽『世界史の中のパレスチナ問題』講談社。 ③ 柴 宜弘『ユーゴスラヴィア現代史（新版）』岩波書店。
参考書	① 山影 進（編著）『主権国家体系の生成』ミネルヴァ書房。 ② 早尾貴紀『国ってなんだろう？～あなたと考えたい「私と国」の関係』平凡社。
成績評価の基準	授業の参加度：50%、レポート：50%
関連 URL	
認定留学期間中の遠隔指導	可 / 否 / その他( )
備考	